



奥田 健治

Kenji Okuda

シニア アカウント エグゼクティブ

パブリック セクター本部

グーグル・クラウド・ジャパン 合同会社

自治体職員のある一日



以下 2 枚のスライドでは
率直にお話させていただきます

自治体における業務の根幹への疑問(私が思う自治体業務の前提)

- 全国を跨ぐようなユニークな情報は、キチンと業務分析後、**標準化を大いにやればいい**
- しかし、自治体ってそもそも**サービス業**です。しかも究極の
- 自治体によって独自サービスができて当然
- 住民の要求は時代と共に急激なスピードで変わる**生モノである**

これを決まりきった旧態依然の仕組みでやっていることに對し、

大変違和感があります

常に変わり続ける住民のニーズに對し、

旧態依然のサービスは、住民要望についていくことが**できません**

そして失敗する箱物行政(私が思う自治体業務の前提)

- まずは仕組みを作って、それに人を当てはめる
- わかりやすく見えるもので無いと予算がつけられない
- 作ったものを長く使うよう維持メンテナンスを計画する

もちろんわかります。

何も無い状態から高度成長期における「箱を作る」というその考えはその時代には必要不可欠でした。しかし、

時代はすでに変わっています

過去のふるさと創生事業、Wikipediaによると、「また、無計画に箱物行政やモニュメントの建設・製作に費やしたりと、**無駄遣**
いの典型として揶揄されることも多かった」

またそんな失敗を繰り返すことになってしまいます。

言いたいことは、

ITの世界に古い考えを持ち込んではいけない、そういうことです。

自治体での発生源入力「システム」の問題点と解決方法

問題点

- IT好きな職員が作った仕組みがある
 - アジャイルの原型とも言えると思うのでこれは否定しない
- 使っている仕組みと考えが古い(Access 職人)
 - VBS や AccessDB、Lotus123 などを使っているケースもあり
- 結果、管理ができず野良アプリが散乱している(野良アプリ)
 - 改修やセキュリティー面で大きな問題



考察

- IT好き職員だけではなく、業務がわかっている人がアプリを作れるようになろう
 - ツールはたくさん作ってもいい
- 誰もがメンテナンスできる共通項を作ろう
 - コードを書くようなものはやめよう
 - セキュリティーはクラウドに任せては？



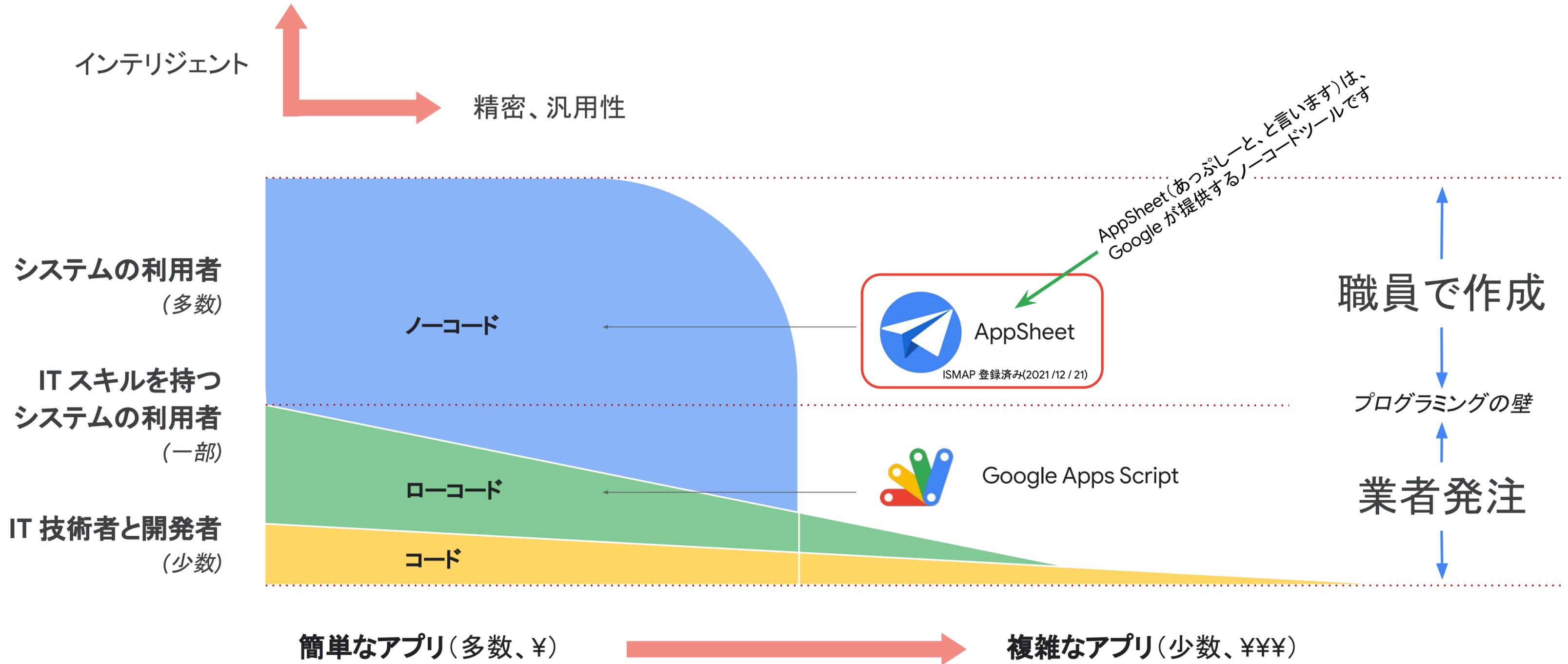
解決

システムがわからない担当者に技術仕様を書かせるのは無理がある。
ならば、業務のプロである職員にてそのフローを落とし込めるようなツールがあればどうだ？
ツール同士が簡単に連携ができ、データが貯められる仕組みが簡単にできるツールがあればどうだ？



ツール同士の化学反応を経て、基幹業務化するのであれば、その際に初めてシステム化する予算を付ける。
無駄な箱を作らずに済む、官公庁アジャイルやりたいならそんな感じじゃないですか？

「システム」の開発のあるべき姿



発生源入力アイデア



考えられるユースケースとして:

- ・土木: 道路橋梁維持管理業務
- ・農林: 技術継承
- ・消防: 火災調査業務
- ・警察: 実況見分・現場検証業務
- ・水道: 上下水道管理業務
- ・民生: 見守り・見回り業務
- ・環境: ゴミ回収業務・焼却炉管理
- ・観光: 実地調査
- ・その他: 住民からの申請・国の調査業務

他の考えられるものいろいろ

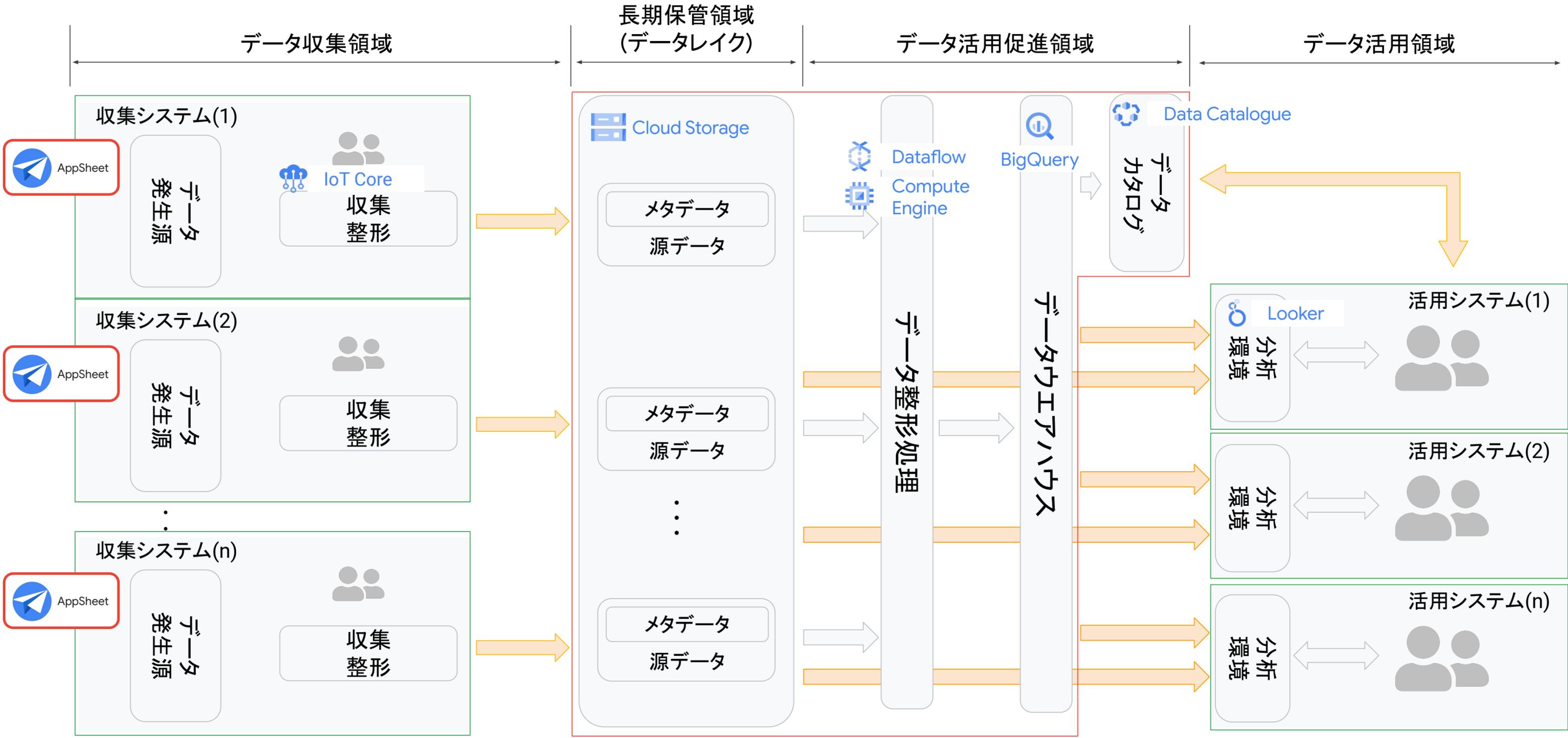
皆様の部署にもこんな業務山程ありますか？
いえ、絶対にあるはず。無いとおかしい。



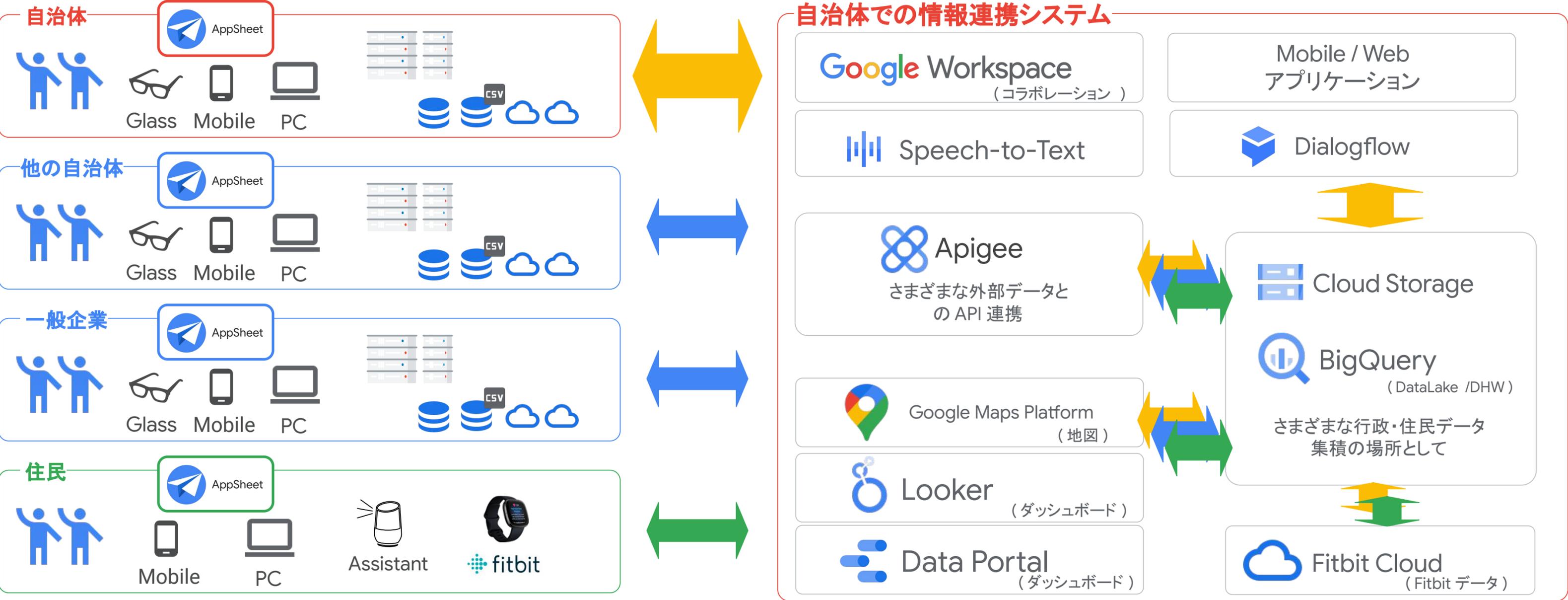
今からつくります！

対象を「人」においた見守り・見回りアプリを作ります

データ収集の仕組み(箱の話)



Google を意識していただくと、このくらいまで発想できるはず



マーケティング データ収集
Google 広告

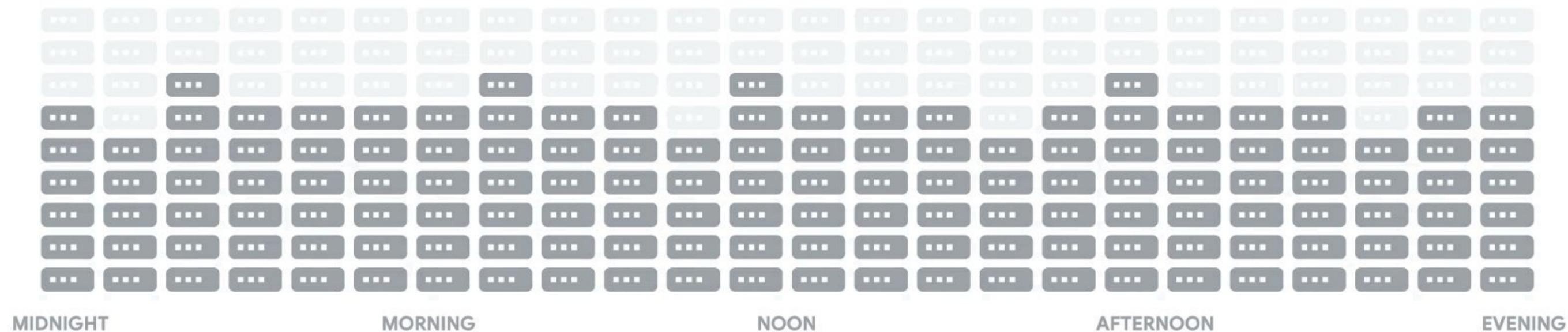
Search Advertising SEM Google Analytics 360 Suite Data Analytics Suite of Tools YouTube Internet Video Service

発想の転換 「Follow the Sun」-「太陽を追いかける」コンピューティング

カーボンフリーエネルギーの供給に合わせて、動的に計算リソースを再分配

Conventional compute load

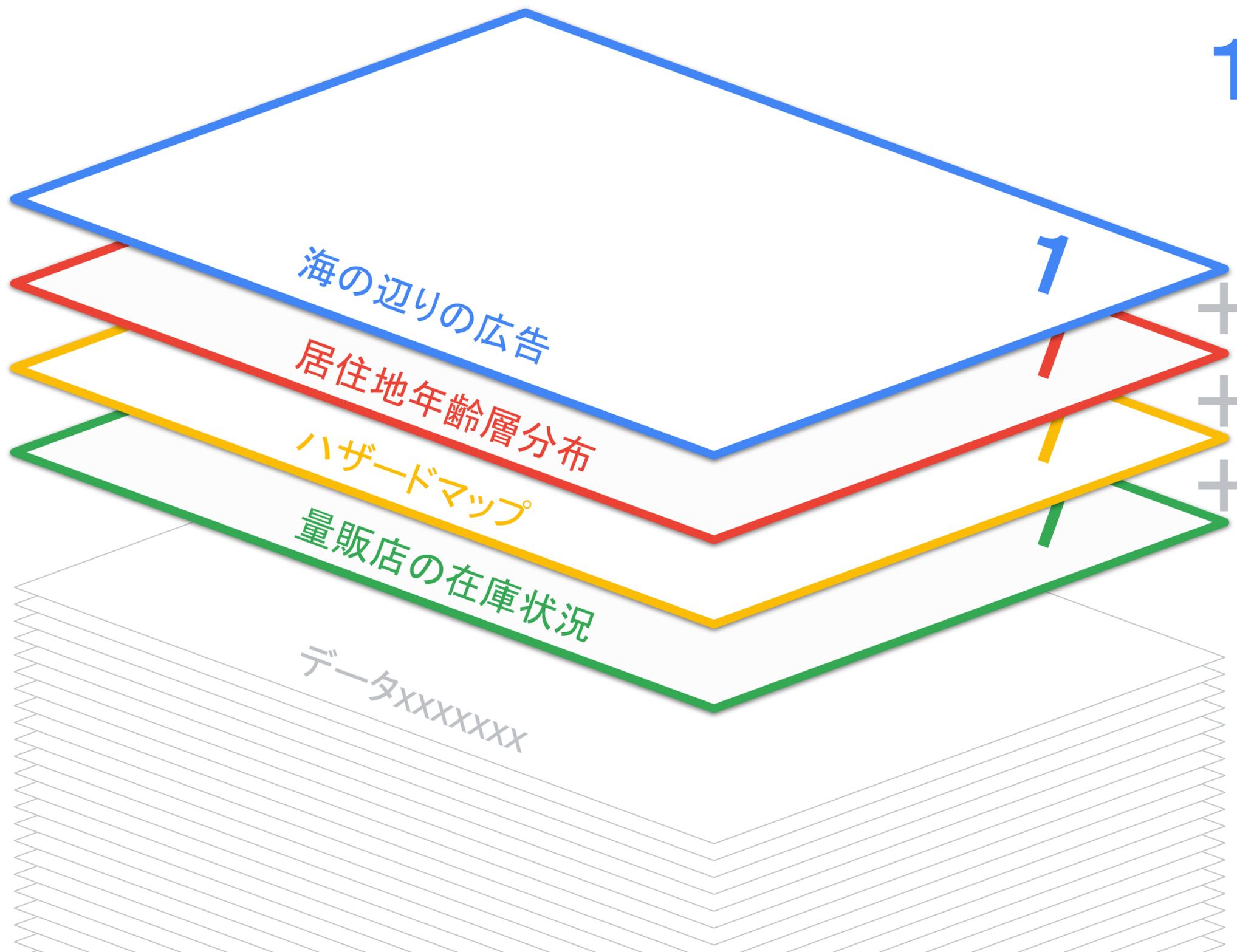
Execution of compute tasks throughout the day, regardless of carbon impact



発想の転換 これいくつ？

$$1 + 1 + 1 + 1 = ? ?$$

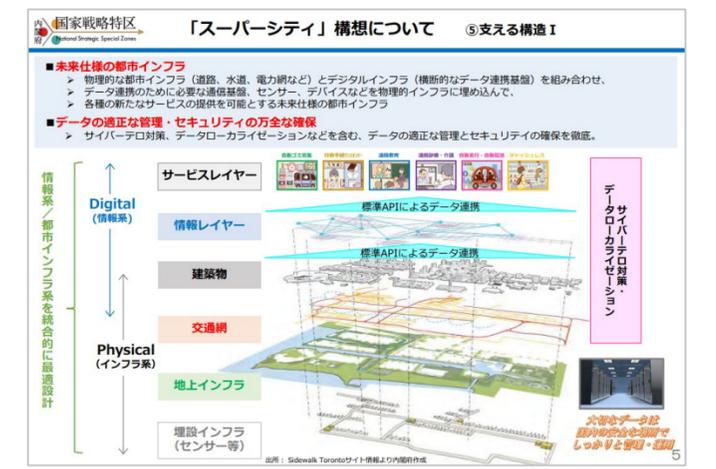
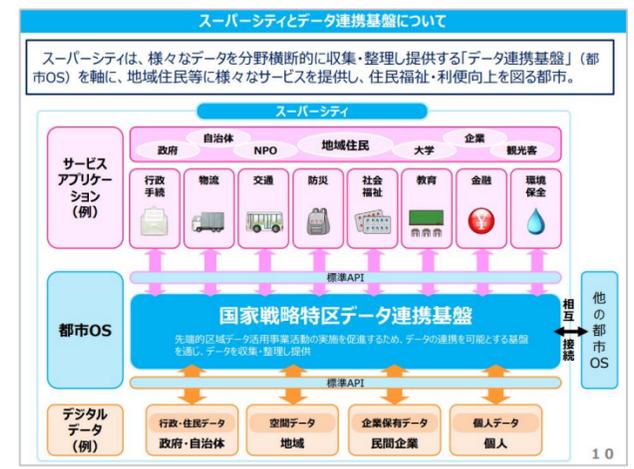
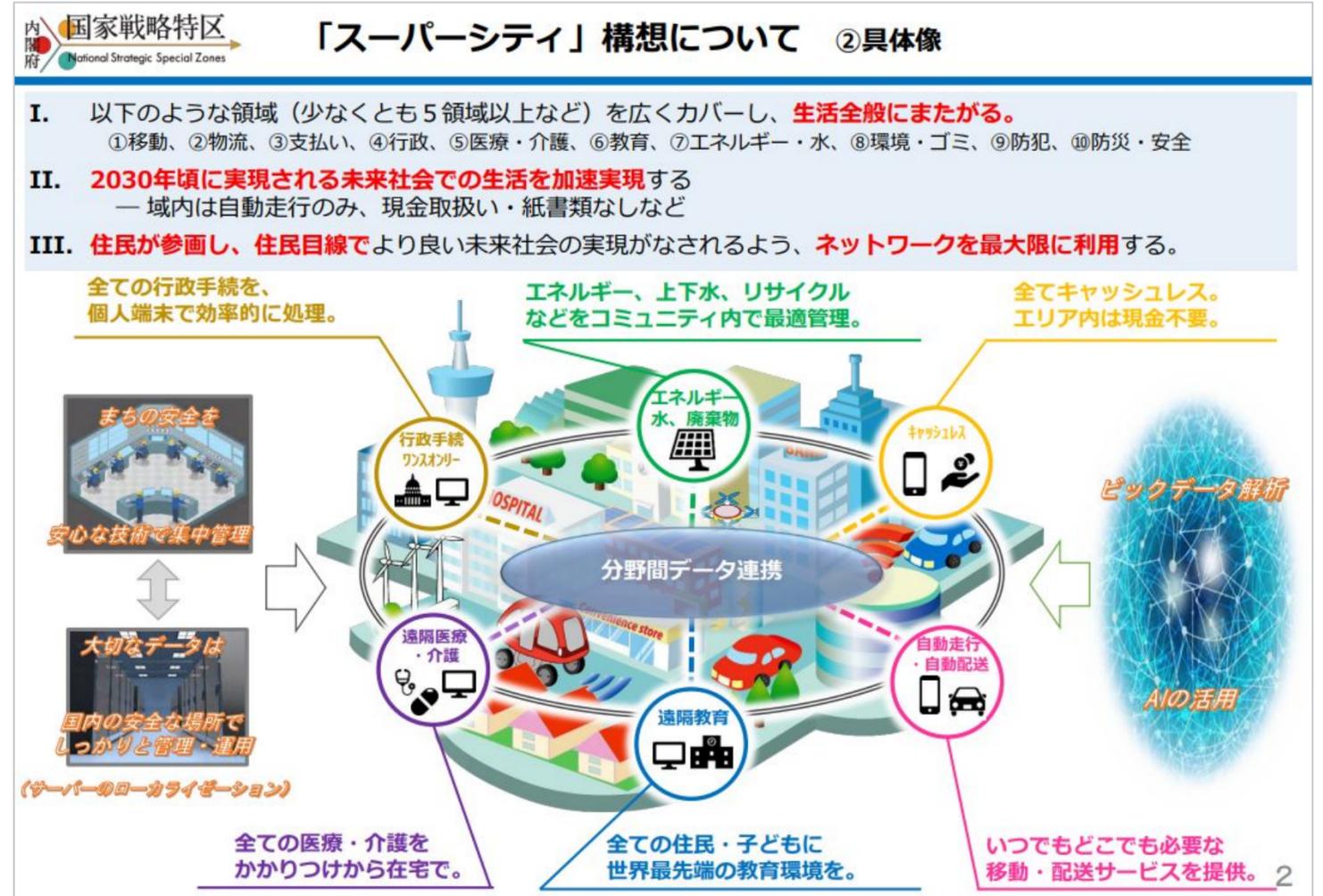
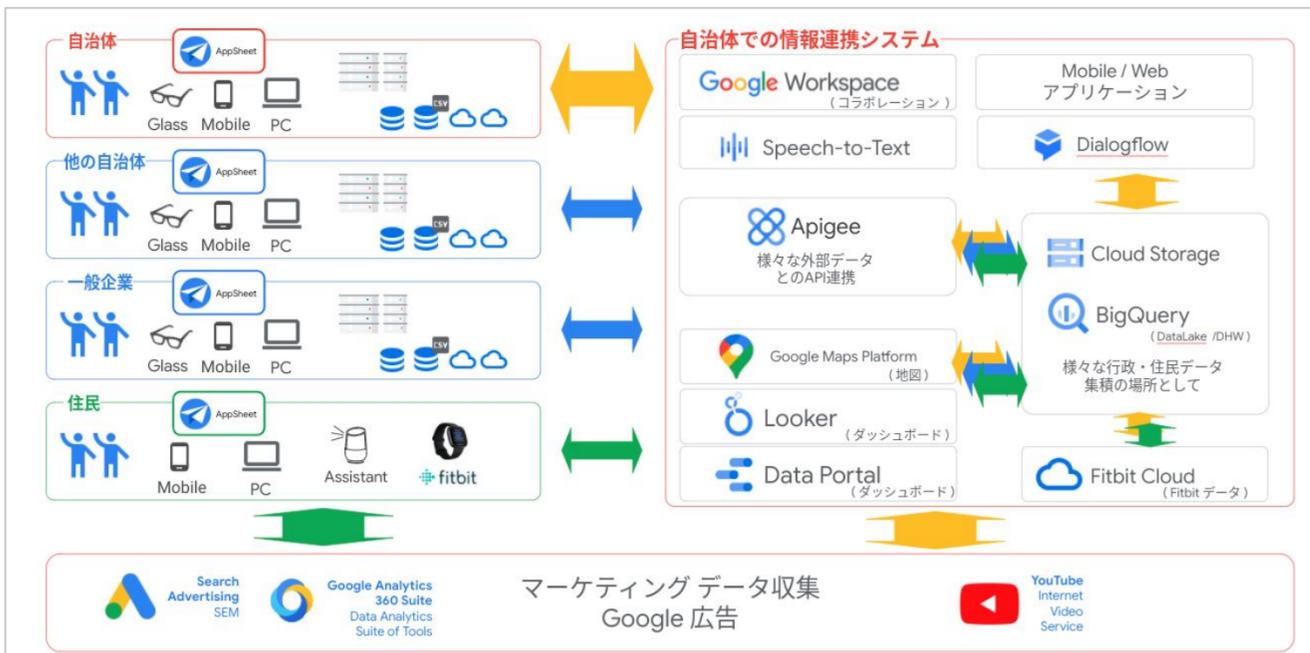
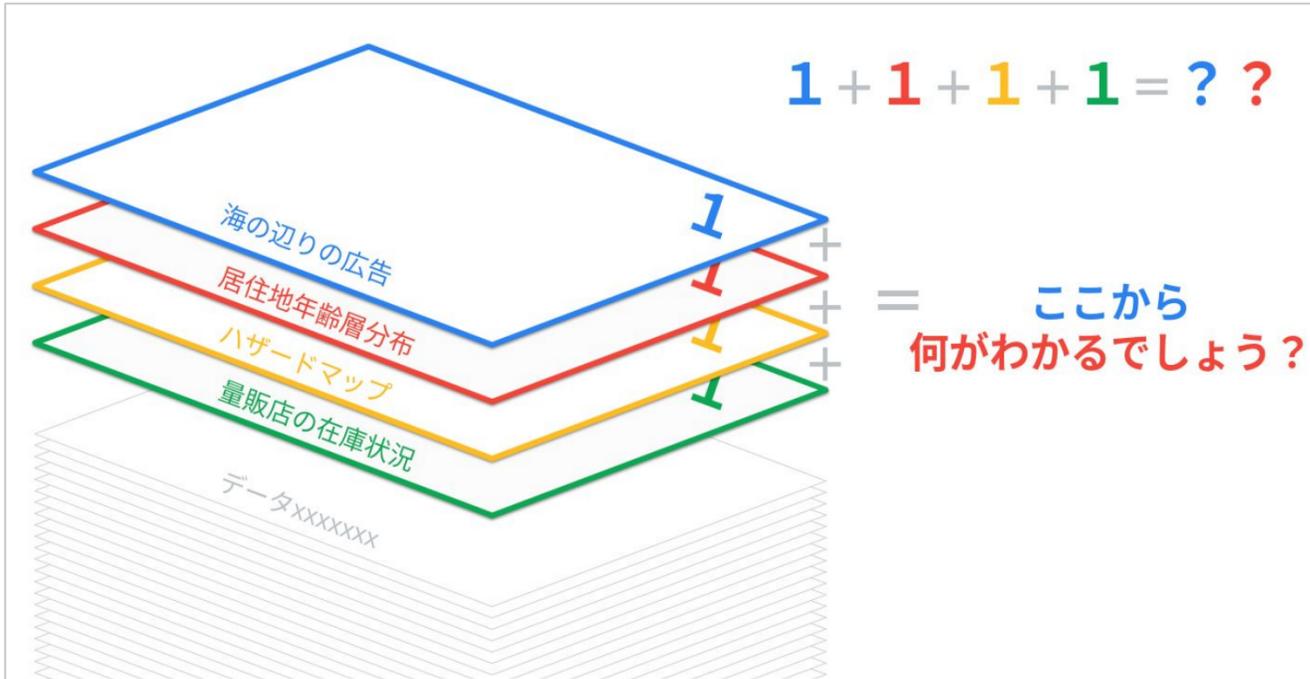
発想の転換 情報の価値は？



$$1 + 1 + 1 + 1 = ? ?$$

ここから
何がわかるでしょう？

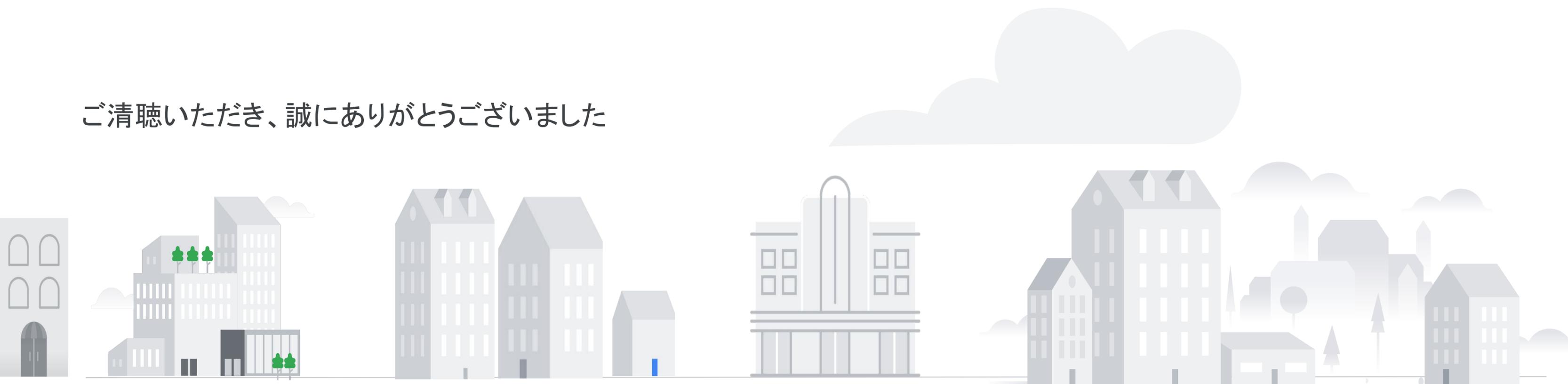
あれ？これって何かに似てませんか？





Thank you

ご清聴いただき、誠にありがとうございました



Appendix

付録

